

## 平成31年度 学校図書館を活用した「読み」を鍛える拠点校事業 実施計画書

## 1. 学校の概要

ふりがな	なんこくしりつとおちしょうがっこう				ふりがな	さかもと かずみ			
学校名	南国市立十市小学校				校長名	坂本 一美			
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
児童数等 生徒数等	47	54	58	52	47	53			
	特別支援学級	計		教員数	ふりがな	たけひ あき			
	9	児童／生徒数	学級数	21	研究推進教諭名	武樋 亜紀			
	320	14							

## 2. 研究主題

自己の考えを広げ深める子どもの育成  
～伝え合う力を育み、生かす授業づくり～

## 3. 研究主題設定の理由

本校では、平成27年度に文部科学省委託事業「スーパー食育スクール」の指定校となったことをきっかけに、栄養教諭を中心に食の年間指導計画に沿って関係機関・地域と連携して食育の実践を行ってきた。生活科・総合的な学習の時間を中心とした本校独自の十市式食育カリキュラムを開発し、各教科等との関連を図り、総合的・横断的にことばの力を高める研究を進める中で、食育で得た感動体験を自分の言葉で書いたり伝え合ったりする子どもの姿が多く見られるようになってきた。

しかし、H25～H29の5年間にわたる全国学力・学習状況調査の結果を見ると、平均正答率は、国語A、国語Bともに全国を下回る結果となった。特に、国語科においては「文章で表された情報を正確に理解する力」「語彙力」に課題があった。また、児童質問紙調査から「友だちの前で自分の考えや意見を発表すること」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすること」に課題が見られた。普段の授業においても、自分の考えを書くことができても相手に分かりやすく伝えることは苦手という児童の姿が多く見られる。このことから、授業スタンダードに沿った授業は一定定着してきたが、子ども主体となる問題解決的な学習、学びに向かう対話的な活動が成立しているとはいえない本校の授業づくりの課題が見えてきた。

以上のような実態から、昨年度より本研究主題を設定し、「伝え合う力」を高める授業づくりに取り組むこととした。また、同時に「学校図書館を活用した『読み』を鍛える拠点校事業」を受け、積極的に学校図書館を活用し、深い読みから言語能力や情報活用能力を育成する授業改善を行った。本年度は昨年度の取組を継続しつつ、意欲を引き出す問いや課題、手立てを考えていくことでさらに研究を深めていく。

この研究を推進するためには、教職員全員がチームとして6年間で児童に付けたい力と目指す子どもの姿を共有し、全教育活動で見通しをもって取り組んでいくことが重要である。今年度も昨年同様全教職員が研究部に入り、ベクトルをそろえて実践できる研究体制で研究を推進する。

## 4. 研究仮説

○国語科において、自分の考えを形成する学習過程を基本として語彙指導の改善や学校図書館を活用する授業を展開することにより、言語能力や情報活用能力の身に付いた子どもが育つであろう。

小学校学習指導要領（平成29年告知）解説 国語編37ページに、「考えの形成とは、文章の構造と内容を捉え、精査・解釈することを通して理解したことに基づいて、自分の既有的知識や様々な体験と結び付

けて感想を持ったり考えをまとめたりしていくこと」と記されている。この「考えの形成」を意識しながら、国語科における系統的な読みの力を付けていく。

## 5. 方法及び内容

### 研究の視点

- ①読みの力を高め、学びの必然性が生まれる問いや思考を深める手立てを考え、自分の考えの形成につなげる。
- ②「言語能力」「情報活用能力」を育成するために、効果的に学校図書館を活用する。

### 具体的な取組

#### (1) 校内研修の充実

##### ①講師招聘による研修

○年間を通しての講師として吉田豊香氏を3回、全校研やブロック研では、江島敬一氏、片岡忠三氏、中部教育事務所より講師を招聘し、研修を深める。

##### ②授業づくりにおける研修 ※年度初めに、講師の講話による共通理解を図る。

○研究対象を国語科の「読む（説明文）」の単元に絞り、研究を深める。

○研究授業については、第二次での公開授業を基本とするが、第一次や第三次における図書館資料を活用した公開授業も適宜行い、学校図書館の効果的な活用についての研究も深める。

##### ③国語科の公開授業の実施

○一人1回以上の研究授業を行う。（指導案は全員に配布）

○全校研においては、2週間前に事前研修を行い全教職員で検討する時間をとる。

○参観後、チェックシートを活用して授業評価を行い、授業改善に生かす。事後研修では研究主題に基づいて協議の視点を焦点化し、成果と課題を明確にする。

#### (2) 日々の授業づくりによる授業改善

##### ①授業スタンダードの定着

○「つなぎのことば」を可視化、活用する。

○学習過程を表すカードを活用し、児童の学びが残る板書・ノートづくりを工夫する。

○学校図書館や新聞等を活用した単元計画を作成し、授業づくりに生かす。

##### ②単元の学習計画表の作成

○単元ごとのねらいを明確にし、児童が目的意識を持ち主体的に取り組める言語活動を設定する。

○1時間ごとの学びを書き込み、学習の成果の共有と前時までの学びとの連続性を図り、児童が見通しを持って学ぶことができるようにする。

##### ③「読むこと」（説明文）の領域の系統化

○説明文系統表や学習用語のカードを活用する。

##### ④自学ノート展覧会の実施

○家庭学習強化週間に合わせて各学年で紹介したい自学ノートを展示し、評価する。

#### (3) 「言語能力」「情報活用能力」を育成する効果的な図書資料や新聞等の活用

##### ①年間計画の作成・見直し

○年間計画に沿って計画的、系統的に図書資料を活用する。

○図書担当と連携し、教科等と関連させて効果的な活用を図る。

##### ②図書資料や新聞等を活用した授業の展開

○授業の中で計画的に活用し、情報活用能力（情報を正確に読み解く力や整理・比較してその関係を捉える力）を育成する。

##### ③辞典活用

○国語辞典・百科事典の引き方手引を作成し、2年生以上が活用する。

○辞書引き大会を適宜行い、引き方の意欲化・定着を図る。

##### ④読書指導の充実

○学校図書館教育の計画作成と検証を行う。

○読書活動を推進する学校図書館環境づくりをすすめる。

- 学校図書館を活用した読書指導を推進し、語彙の習得、情報活用能力の向上を目指す。
- 新聞づくり・各種コンクールに向けての活動の計画を立て、推進する。
- 地域と連携(読み聞かせボランティアなど)した取組を工夫して行う。

(4) 各種コンクールの活用

①「学校新聞づくりコンクール」

- 学習の学びを表現する場として新聞づくりに取り組み、「学校新聞づくりコンクール」に出品する。
  - ・授業のふり返りに、はがき新聞づくりを行う。
  - ・夏休み明けの作品展で掲示し、評価・審査を行う。

②「読書感想文コンクール」

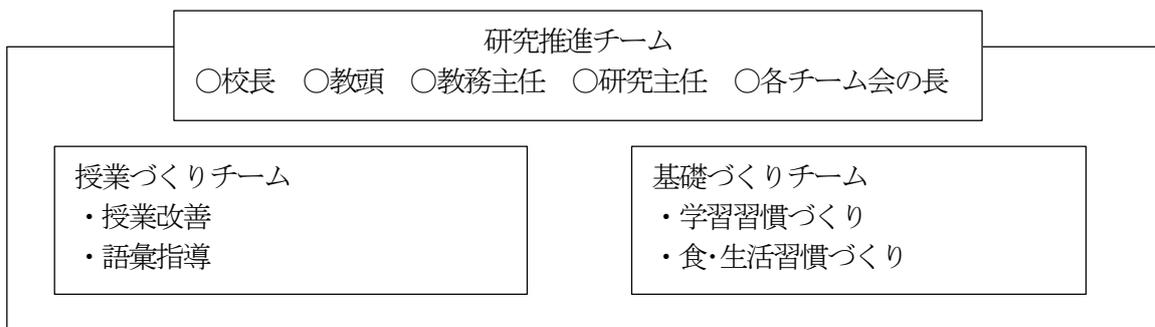
- 読みを深め、文章で表現する場として、2年生以上が「読書感想文コンクール」に出品する。
  - ・1学期中に、書き方の手引きや読書感想文集等を図書館担当が配布する。

③「読書感想画コンクール」

- 読書体験の中から、自分の描きたい場面を選び絵で表現する場として読書感想画に取り組み、「読書感想画コンクール」に出品する。
  - ・2学期までに、計画的に取り組む。

## 6. 研究体制

研究部を以下の2つの部に分け、管理職を除くすべての教員がいずれかの部に所属して研究を推進する。



## 7. 検証

達成目標	指標	時期
○各種学力調査結果 ・全国学力・学習状況調査…全国平均3P以上 ・高知県学力定着状況調査…県平均2P以上	○各種学力調査結果 ・全国学力・学習状況調査 ・高知県学力定着状況調査	【4月】 【12月】
○授業力チェックシート ・「授業構成」要素平均3・5以上	○授業力チェックシート	【8月・12月】
○香長中ブロック「意識実態調査」 ・「学校の勉強が楽しい」85%以上 ・「自分の意見を発表することができる」80%以上 ・「国語の授業がわかる」90%以上 ・「読書が好き」80%以上 ・「毎日読書をする」90%以上	○香長中ブロック「意識実態調査」	【11月】
○学校図書館の利用状況 ・年間貸出目標冊数達成率80%以上 低 100冊 中 80冊 高 60冊	○学校図書館の活用状況	【2月】

## 8. 成果普及の方法

普及内容	方法	時期
○研究方針・研究内容	・学校だよりの発行 ・研究だよりの発行 ・図書館だよりの発行	【4月】【随時】 【毎月】 【毎月】
○具体的な取り組み ・各学級・学年・図書館教育の実践 ・研究発表会・公開授業・事前、事後研修	・研究発表会の実施 ・公開授業の実施 ・授業参観による保護者への啓発 ・ホームページへの掲載	【11月】 【随時】 【4月】【随時】 【随時】

## 9. 年間事業計画

	校内研修	公開授業・研究発表会 ※校外に案内する会	校外研修・視察等
4月	3日 研究主題, 目指す子ども像, 研究内容 4日 今年度の研究計画・取組の流れ 10日 学校図書館関係提案(計画・取組) 18日 「問いが生まれる授業づくり」 講師: 吉田 豊香 氏 19日 「説明文における指導のポイント」 講師: 松岡 俊宏 教頭		
5月	8日 事前研(4年 国語) 15日 全校授業研(やまもも学級・児童理解) 22日 全校授業研(4年 国語) 「説明のまとまりを見つけよう」 29日 全国学力・学習状況調査分析と活用 事前研(5年 国語)	・22(水)…公開授業研究会 (4年・国語) (講師: 江島 敬一氏)	・14日(火) 授業研修(国語科) 蓮池 ・17日(金) 授業研修(国語科) 鏡野中
6月	12日 事前研(1年 国語) 13日 授業研修「全学級授業参観及び授業研究」 全校授業研(5年 国語) 「書き手の意図を考えながら新聞を読もう」 講師: 吉田 豊香 氏 19日 事前研(6年 国語) 26日 全校授業研(1年 国語) 「どうやってみをまもるのかな」	・26(水)…公開授業研究会 (1年・国語) (講師: 中部教育事務所 久武 指導主事)	・19日(水) 授業研修(国語科) 蓮池 ・21日(金) 授業研修(国語科) 鏡野中
7月	3日 全校授業研(6年 国語) 「新聞の投書を読んで意見を書こう」 10日 1学期の取組検証について 17日 意識実態調査分析と経年比較 24日 人権レポート読み合わせ 29日 ノート・短作文研修	・3(水)…公開授業研究会 (6年・国語) (講師: 片岡忠三氏)	
8月	16日 Q-Uの分析・活用 19日 2学期の取り組み内容の共通理解 授業力チェックシート分析・取組 研究紀要		
9月	4日 学校経営計画の見直し・確認		・24日(火) 授業研修(国語科) 鏡野中 ・27日(金)

			授業研修 (国語科) 蓮池小
10月	9日 研究発表会についての確認		3日 SLA大会
11月	12日 研究発表会 2年 「どうぶつのひみつをみんなでさがろう」 3年 「はたらく犬について調べよう」 5年 「和の文化について調べよう」	・12(火)・・・研究発表会 (2・3・5年・国語) 講師 低 久武指導主事 中 江島敬一氏 高 片岡忠三氏	・5日(火) 授業研修 (国語科) 鏡野中 ・8日(金) 授業研修 (国語科) 蓮池小
12月	10日 外国語公開授業 11日 授業力チェックシート分析(末)		
1月	3日 2学期の研究の検証・3学期の取組確認		
2月	12日 高知県学力定着状況調査・第2回標準 学力調査分析・検証(課題の共有) 19日 本年度の総括 (成果と課題) 26日 次年度研究の方向性 提案・協議		
3月	12日 個別の指導計画の見直し 21日 教育計画の作成		